

- 一〇 日ノ漁業問題……………三四三
- 一一 独ソ中立条約問題……………四〇四
- 一二 ソ連邦外交関係雑件……………四四八
- 一三 東支鉄道問題……………四五八
- 一四 大正天皇崩御御関係……………五九六

付録 日本外交文書 大正十五年第一冊 日付索引

事項一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題

一 三月二十五日(着) 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ドイツ政府ヨリ同国民ニ対スル補償金ノド

ーズ年金ヨリ支払方ヲ仲裁裁判ニ付スベキ旨

申出ノ件

付記 昭和二年一月二十七日着在オランダ国三宅臨時

代理公使発幣原外務大臣宛電報第八号

右補償金ノドーズ年金ヨリ控除方ノ可否ニ関ス

ル仲裁裁判開始ノ件

別電一 同年一月二十七日在オランダ国三宅臨時代理

公使発幣原外務大臣宛電報第九号

右仲裁裁判ニ於ケルドイツ側ト賠償委員会側

ノ口頭弁論要旨

二 同年一月二十九日在オランダ国三宅臨時代理

公使発幣原外務大臣宛電報第一一号

賠償委員会側勝訟ノ件

第九六号

陪案第四三八号

独逸政府ハ賠償委員会ニ対シ「ヴェルサイユ」會議ニ基キ

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一

一九二四年九月以後其ノ国民ニ補償スヘキ金額ハ「ドウス」  
年金ヨリ支払フ可キモノナリトノ意見ヲ提出シ委員会之ヲ  
拒絶シタル処独逸ハ之ヲ仲裁裁判ニ付スヘキ旨ヲ申出テタ  
ルヲ以テ近日仲裁約款ヲ決定スルコトナセリ独逸政府ハ  
初メ第二六〇条及第二九七条(1)ノミヲ問題トセルモ最近ニ  
至リ第七四条第一四五条第一五六条第二項及「ヴェルサイ  
ユ」議定書第二項ヲモ列挙シ来リ茲ニ山東關係ノ問題ヲモ  
生セル処本件仲裁手續ハ倫敦協定ニ基ク当然ノ結果ニシテ  
本邦トシテモ日独間ニ特別ノ協定ヲ締結セル御意向無キ限  
リ之ヲ進捗セシムル外ナシト存ス就テハ本邦ノ利益ヲ保護  
スル為今後賠償委員会法律部ニ於テ本件ニ関セル抗弁書ヲ  
起草スルトキハ本邦委員ヲモ参加セシメ又裁判所ニ於ケル  
弁論(多分来年初頃海牙ニテ)ニ際シ本邦ニ於テ其ノ必要  
ヲ認ムルトキハ賠償委員会ノ弁論人中ニ本件法律家ヲ加フ  
ル様委員会書記長ト談合セリ尚賠償委員会法律顧問ハマサ  
カ本件カ委員会ノ敗訴ニ帰スルコトナカル可ク万一新ノ如  
キコトアレハ客年ノ大蔵大臣協定ハ根本的ノ改訂ヲ要スト

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一

述へ居レリ

(付記)

昭和二年一月二十七日着在オランダ国三宅臨時代理公使發幣  
原外務大臣宛電報第八号

右補償金ノドーズ年金ヨリ控除方ノ可否ニ関スル仲裁裁判開  
始ノ件

第八号

平和条約第二九七条ノ規定ニ依リ独逸カ其国民ニ対シ為ス  
ヘキ賠償金ハ一九二四年九月一日以後ニ於テハ「ドーズ」  
年金ヨリ控除セラレヘキモノナリヤニ関スル独逸政府對賠  
償委員會ノ仲裁裁判ハ一月二十一日ヨリ当地ニ於テ開廷セ  
ラレタル処今二十六日口頭弁論ヲ終了セリ判決ノ期日ハ追  
テ決定ノ筈口頭弁論ノ要旨別電ノ通り

(別電一)

本電仏独米各大使へ転電英伊白各大使へ郵送

(別電二)

同年一月二十七日在オランダ国三宅臨時代理公使發幣原外務  
大臣宛電報第九号

右仲裁裁判ニ於ケルドイツ側ト賠償委員會側ノ口頭弁論要旨

第九号

(一月二十八日接受)

別電(一)独逸側

条約所定ノ個人ニ対スル賠償ハ独逸国内ノ需要ヲ充タスヘ

除スヘキモノニアラス平和条約ノ補償ニ関スル規定ハ独逸  
自体ノ問題ナリ個人ノ精算財産ハ之ヲ独逸ノ貸方ニ記入ス  
ル事トナリ居レリ從ツテ之カ支払ハ独逸ノ国内義務ニシテ  
連合国ニ対スル支払ト關係ナシ「ドーズ」案ニ依ル独逸ノ  
支払ハ専ラ連合国ノ利益ノ為メニ存ス又敵国個人財産ノ押  
収ハ国際法及英米法ノ容認スル所ナリ独逸商船ノ引渡ニ付  
テハ独逸ハ未タ其三分ノ一ヲ補償セルニ過キササルヲ以テ千  
九百二十四年九月一日前ニ終了セル故ヲ以テ之ニ関スル賠  
償モ亦年金ニ依ルヘシト主張セルハ矛盾ナリ云々  
英、独、仏、伊、白、米、各大使へ郵送セリ

(別電二)

同年一月二十九日在オランダ三宅臨時代理公使發幣原

外務大臣宛電報第一号

賠償委員會側勝訴ノ件

第一一号

(一月三十日接受)

往電第八号ニ関シ

今二十九日判決言渡シアリ委員會側ノ勝訴トナル

仏独へ転電シ英伊白各大使へ郵送セリ

二 六月十二日

在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 二

二

キ独逸予算ヨリ支弁スヘキモノニアラス平和条約ニ於テ個  
人財産ノ精算ヲ規定セルハ変則的措置ナリ一九一九年六月  
十六日ノ書面ニ於テ連合国ハ独逸人ノ差押財産ヲ一ノ前渡  
金トシテ受領セルニ過キス個人ノ賠償請求權ハ平和条約ノ  
重要ナル一部分ナリ此賠償義務ハ精算ト不可分ノ關係ニア  
ルモノニシテ從テ寧ロ全体トシテ「ドーズ」案年金中ニ含  
マルヘキ連合国ニ対スル義務ノ一部ヲ成ス「ドーズ」案ハ  
独逸財政ノ均衡通貨ノ安定ヲ主眼トス独逸ハ予算ノ均衡ヲ  
得ントセハ精算ニ依ル損害ノ賠償ヲ排除セサルヘカラス本  
問題ハ(不明)本来ノ精神ニ依リ解決セラレヘキモノナリ

(二)賠償委員會

仲裁裁判所ハ「ドーズ」案以外新規ノ支払契約ヲ定ムル權  
能ナシ若シ独逸ノ主張ニシテ容レラルルニ於テハ連合側ハ  
正当權利額ノ九割ヲ受領スルニ過キササルヘシ「ドーズ」案  
ハ独逸ノ連合側ニ対スル負擔額ノ支払方法ヲ定ムルヲ主タ  
ル目的トス予算ノ均衡通貨ノ安定ハ其ノ手段ニ過キス連合  
国ニ引渡サレタル独逸人財産ハ条約実施ノ際其処分權ヲ喪  
失セルモノナリ又「ドーズ」年金ハ戦費ノ賠償ニ充ツヘキ  
モノナルヲ以テ其後ニ至リ個人財産ノ補償額ヲ年金ヨリ控

ドーズ年金第三・第四年度中ノ可動年金支払

ニ関スルドーズ案修正承認方要請ノ件

第二〇九号

(六月十三日接受)

賠償第四五〇号

一、「ドーズ」年金第三・第四年度中ノ可動年金(「ドウ  
ズ」案英公文一八頁末行以下)ハ担保収入ノ額如何ニ関シ  
テ其金額確定セサルノミナラス各其ノ翌年度ニ於テ支払ハ  
ル可ク從テ第三年度ニ於テハ第二年度ニ比シ連合国受領額  
減少スルノ不都合アルヲ以テ賠償支払管理人ハ第三年第四  
年度可動年金額ヲ確定シ其ノ年度ニ於テ月割ニテ支払ハシ  
ムルコト独逸政府ト交渉シツツアリシ処独逸政府ハ第三年  
度二億四千万金馬克第四年度六千万金馬克ヲ支払フノ意ア  
リ就テハ支払管理人ハ第一案、第三年度三億金馬克(即、  
年金合計十五億金馬克)第四年度加減セス(即、年金合計  
十七億五千万金馬克)

第二案、第三年度二億五千万金馬克、第四年度七千五百万

金馬克

第三案、第三年度二億五千万金馬克、第四年度五千万金馬

克

三

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 三

ノ順序ヲ以テ独逸政府ト協議シタキ趣ヲ以テ賠償委員会及連合国政府ノ同意ヲ求メ来レリ

二、若シ支払管理人ハ現独逸政府ノ地位危キニ鑑ミ若シ政変アラハ次ノ政府ハ倫敦協定ニ依レハ其ノ負担スルコト不確定ナリシ右可動年金ヲ確定的ニ支払フカ如キ「ドウズ」案修正ニ同意スル見込アリヤ甚タ疑アルヲ以テ至急ノ回答ヲ求メ居ルニ付六月十一日賠償委員会ニ集合セル倫敦協定調印国政府代表者ハ本案ノ有利ナルヲ認メ ad referendum ニテ之ニ同意シ各自政府ノ追認ヲ得ルニ努力スヘキヲ約セリ

三、若シ支払管理人ノ交渉進捗セハ六月十九日ノ賠償委員会本會議ニ於テ倫敦協定調印国代表者出席ノ上連合国政府及賠償委員会ノ合同決議ヲナスヘキニ付右至急御承認相成タシ

(欄外註記)

吾人ハ避クヘカラサル或程度ノ支出増加ヲ参酌シタル上爾後ノ三年間ノ予算ハ左ノ最大限金額ヲ計上スルモ安全ナリトノ結論ヲ得タリ  
一九二六・二七年 一億一千万金馬  
二七・二八年 五億 "

編註 別紙ハ六月十二日在仏国石井大使發幣原外務大臣宛電報

第二〇九号写

四 六月十六日 幣原外務大臣ヨリ  
在仏国石井大使宛(電報)

ドーズ年金中ノ可動年金ノ支払ニ関スルドーズ案修正ニ異議ナキ旨回報ノ件

一七〇号

貴電第二〇九号ニ関シ

本邦側トシテハ異議ナシ

五 六月十七日 田大蔵次官ヨリ  
出淵外務次官宛

ドーズ年次金中ノ可動年金ノ確定的支払承認

ニ関シ異議ナキ旨回答ノ件

官房秘丙第二〇号

大正十五年六月十七日

大蔵次官 田 昌(印)

外務次官 出淵 勝次殿

ドーズ年次金第三第四年度中可動年金ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ条三機密第四八七号ヲ以テ御照会ノ趣了承

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 四 五 六

二八・二九年 十二億五千万金馬

然レトモ一九二六―二七年及二七―二八年ニ於ケル独逸国ノ回復力ヲ推測スルコト困難ナルノ事実ニ鑑ミ吾人ハ二億五千万金馬ヲ超エサル限度内ニ於テ次ノ計画ニ従ヒ此等ノ金額変更セラルルコトアルヘキヲ提案ス即チ第十四ニ規定セラルル監理収入ノ総計カ一九二六―二七年ニ於テ十億ヲ超過シタル場合又ハ一九二七・二八年ニ於テ十二億五千万ヲ超過シタル場合ニ於テハ右超過額ノ三分ノ一ニ相当スル額ヲ前記支払金額ニ追加スヘク之ニ反シテ該総計カ一九二六・二七年ニ於テ十億ニ達セサル場合又ハ一九二七・二八年ニ於テ十二億五千万ニ達セサル場合ニ於テハ右不足額ノ三分ノ一ニ相当スル額ヲ輕減スヘシ

三 六月十五日 出淵外務次官ヨリ  
田大蔵次官宛

ドーズ年次金中ノ可動年金ノ確定的支払ニ関

シ意見照会ノ件

条三機密第四八七号

「ドウズ」年次金中ノ可動年金ノ確定的支払ニ関スル件

本件ニ関シ在仏石井大使ヨリ別紙写シノ通電報アリタルニ付委細右ニテ御了承ノ上何分ノ貴見至急御回示相成度シ

当省トシテハ本件承認ニ関シ異議無之此段及回答候也

六 七月三十一日 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

独国賠償現金ノ第二年度分配予定額ニ関スル

件

第二六九号

(八月一日接受)

賠実第四五三号

一、七月三十一日為替委員会ノ決定アラハ八月ニ支払ヲ予期セラルル独逸賠償現金ノ分配ニ関シテハ受領各国間ノ協調困難ナリシモ山路委員ノ努力ニ依リ「スパ」率ヲ基準トシテ既ニ受領スル実物弁済額ヲ考慮シテ左ノ如ク分配スル予定トナレリ

白国 四、〇〇〇、〇〇〇 金「マルク」

仏国 二六、〇〇〇、〇〇〇

英国 三、五〇〇、〇〇〇

伊国 四、〇〇〇、〇〇〇

日本 一、五〇〇、〇〇〇

米国 一、〇〇〇、〇〇〇

合計 五〇、〇〇〇、〇〇〇

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 七 八

英国ヘノ支払ハ「スパ」協定第六條備船勘定トシテ日本ニ支払ハルル故我受領額ハ合計五百万金「マルク」トナルニ、若シ為替委員会ノ決定スル支払総額カ右ト異ナルハ之ニ比例シテ分配額ヲ増減ス可ク而シテ一国ノ第二年度債権残額カ各自ノ右現金割当額ニ達セサル時ハ之カ相当額迄分配額ヲ減ス可シ尚英国ハ毎月ノ賠償割当額ノ全部ヲ賠償回収法ノ運用ニ依リテ受領シ居ル処八月ノ独逸支払額ハ他ノ月ヨリ多額ナルヲ以テ兎ニ角同国ニ前掲ノ金額ヲ割当テタルモ最近ノ英独貿易ニ鑑ミ百余万ノ權利額ヲ残スニ過キサルヤノ虞アリ從テ其場合ニハ英国ヨリ日本ヘノ転交額モ相当減スル事トナル可シ

七 八月九日 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

ドーズ年金第一年度債権額分配表送付ノ件

公第五七三号

大正十五年八月九日

在仏

特命全權大使子爵 石井 菊次郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

為替委員会ハ其後八月中ニ現金約六千五百万金「マーク」支払方ヲ決定シタルニ付日本ノ受領額ハ二百二十二万六千一百一「マーク」トナリ之ニ英国ヨリノ備船料十九万四千五百一十磅一志六片ヲ加ヘ結局英貨三十七万四千五百一十磅一志六片及米貨十三万八千五百六十六弗ヲ受領スヘク右支払ハ八月二十五日迄ニ全部終了ノ筈

九 九月九日 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 (電報)

第三年度ドーズ年金ノ本邦受領權利額ニ関スル件

第二九七号

(九月十日接受)

賠実第四五七号

賠実第四五〇号第一案ノ協定成立シ第三年度「ドーズ」年金ハ十五億金馬克トナレルヲ以テ占領軍其他金額未定ノモノヲ第二年度同様ト仮定セハ本邦ノ受領權利額ノ七、九二六、一一五金馬克トナリ (未定債権確定ノ上ハ増額ノ見込) 九月、十月、十一月ノ割当夫々四十三万七千・四十九万・四十九万二千金馬克  
支払管理人ヨリ聞ク処ニ依レハ第三年度ニ賠償金トシテ分

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 九 一〇

「ドーズ」年金第一年度債権額分配表送付ノ件

一九二六年七月二十日現在ヲ以テ調製セル「ドーズ」年金第一年度債権額分配表左記ノ通送付ス本表ニ依レハ本邦第一年度債権額ハ五、〇〇四、五五九金馬六五ナリ

追テ曩ニ送付スルモノニ修正ヲ加ヘタル主ナル点ハ各種委員会経費、還付、公債費ノ修正又ハ確定アリタルニ依ル

Distribution of the first German annuity :

Annex 2947. A, B.

Distribution of the first German annuity :

Annex 2680 C.

編註 別添債権額分配表見当ラズ

八 八月二十五日 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛 (電報)

独国賠償現金ノ第二年度本邦受領額ニ関スル件

第二八六号

賠実第四五五号

賠実第四五四号ニ関シ

(八月二十六日接受)

配スヘキ現金ハ約二億金馬克ノ由ナル処曩ニ八月現金分配交渉ノ際ニハ欧州諸実物弁済受領国ノ賠償債権残額少キヲ利用シテ本邦人カ利益ヲ得タルモ各国共ニ現金受領ヲ切望スル故今後ハ「スパ」率ニ依リテ分配スヘントスル説相当有力トナレリ

一〇 十月十二日 在仏国石井大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

第三年度賠償債権分配ノ本邦割当額ニ関スル件

公第七〇二号

大正十五年十月十二日

在仏

特命全權大使子爵 石井 菊次郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

一九二六年九、十、十一月分賠償債権分配ノ件  
賠償委員会ハ本件ニ関スル支払管理人提案ヲ承認セリ之ニ依レハ日本割当額ハ

九月 四三七、七九一金馬五六  
十月 四九〇、八〇〇金馬〇〇  
十一月 四九二、二〇〇金馬〇〇

Paris, September 30, 1926.

**REPARATION  
Accounting  
ESTIMATED DISTRIBUTION OF THE THIRD**

(Account taken of the sums made available through the reduction of 10% in the accordance with Article 20 of the Agreement of January 14, 1925)

1. Powers	Arrears on account of the costs of the Armies of Occupation.		Current expenses of Armies of Occupation		Belgian Debt Distribution on basis of P.M.C. Decision 417)		Restitutions. (Distribution on basis of provisional percentages fixed by P.M.C. Decision 534).	
	%	1	2	%	3	%	4	
Great Britain	.43	10,750,000	25,000,000	39.407	22,661,980	1.383	159,066	
France	.57	14,250,000	110,000,000	45.891	26,390,767	61.333	7,054,215	
Italy	—	—	—	—	—	1.185	136,293	
Belgium	—	—	25,000,000	14.702	8,454,753	30.667	3,527,165	
Japan	—	—	—	—	—	—	—	
Serbia	—	—	—	—	—	0.987	113,520	
Portugal	—	—	—	—	—	—	—	
Roumania	—	—	—	—	—	2.667	306,745	
Greece	—	—	—	—	—	—	—	
	100 %	25,000,000	160,000,000	100%	57,507,500		11,297,004	
Poland						1.778	204,496	
United States of America		55,000,000						
		80,000,000	160,000,000		57,507,500		11,501,500	

NOTES: (1) The distribution of the "Reparation" shares (Col.5) was made on the basis of Article 1 of the Spa Agreement, completed in the case of Roumania and Greece by Article 7, paragraphs A and B) of the Agreement of January 14, 1925, and adjusted in the case of Belgium by Article 6 B c) of the same Agreement. The 3.5% rendered available by the reduction in the Belgian share has been divided between Great Britain and France in the proportion of 22:52.

Annex 2995 A.  
Statement 2.

**COMMISSION.  
Section.  
ANNUITY UNDER THE EXPERTS' PLAN.**

shares of Italy and Serbia intended for the repayment of their excesses in

	Reparations (See Note 1)	Total shares in the annuity	Adjustments to be made in shares under Col. 6 in execution of Art. 20 of Agreement of January 14, 1925 (2)	Total credits due to Powers	
%	5	6	%	7	8
22.—	232,499,372	302,057,010	24.37	Cr. 3,869,277	305,936,287
3.50	( 10,996,592)				
	( 25,991,944)				
52.—	549,543,971	719,230,897	73.60	Cr. 11,685,628	730,916,525
	Dr. 14,000,000)				
10.—	105,681,533	105,817,826	—	Dr. 10,581,783	95,236,043
4.50	47,556,690)				
—	Cr. 14,000,000)	98,538,608	—	—	98,538,608
0.75	7,926,115	7,926,115	1.00	Cr. 158,772	8,084,887
5.—	52,840,766	52,954,286	—	Dr. 5,295,429	47,658,857
0.75	7,926,115	7,926,115	0.70	Cr. 111,140	8,037,255
1.10	11,624,969	11,931,714	0.30	Cr. 47,632	11,979,346
0.40	4,227,261	4,227,261	0.03	Cr. 4,763	4,232,024
100%	1,056,815,328	1,310,619,832	100%	—	1,310,619,832
	—	204,496		—	204,496
	24,325,672	79,325,672		—	79,325,672
	1,081,141,000	1,390,150,000		—	1,390,150,000

(2) The adjustments indicated in column 7 represent the repayment of 10% by Italy and Serbia in their shares in the annuity, in accordance with Article 20 of the Agreement of January 14, 1925, that is, 10,581,783 + 5,295,429 = 15,877,212 gold marks. This sum has been distributed among the Powers in credit to the Reparation Pool, on the basis of the provisional percentages fixed at the meeting of the National Delegations of August 26, 1926 (see F.S. 137 B) Reparation Commission's letter to the Agent General 13/474 and 60/P/36).

(別添)  
賠償委員会計理部作成ノ第三年度賠償債権分配仮計算表

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一〇

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一〇

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一一

ナリ  
(註) 省略  
ナリ関係書類左記送付ス

1.—Annex 2972 A. B. C:—Revised Provisional distribution of the third annuity. Revised suggested programmes for the months of September, October & November 1926.

2.—Decision 3354—495th meeting, 2nd October 1926. 尚左記書類ニ於テ第三年度全額ノ分配ニ関シテハ一九二五年一月十四日協定第二十條ヲ適用セス各月ノ分配額ニ付テノミ右規定ヲ適用シテ計算セル為第三年度本邦割当全額ヲ七、九二六、一一五金麻ト計上セルモ一ケ年分ニ付右規定ヲ適用シテ計算セハ我國割当額ハ、〇八四、八八七金麻トナル又占領軍費用等未済決算確定セハ更ニ僅少ナカラ増加スハキ見込ナリ

右ニ関シテハ左記委員会計理部仮計算表御参照アリタシ  
*Annex 2995 A.—Provisional distribution of the 3rd Annuity.*

一一 十二月八日 在仏国松島臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

第二年度ドーズ年金分配訂正表送付ノ件

Ref. 212.

60/P/3 B.

BERLIN, November 17, 1926.

Revised Distribution of the Second Annuity.

From: The Agent General for Reparation Payments

To : The Secretary General, Reparation

Commission, Paris.

Sir,

I have the honour to present herewith, for the information of the Reparation Commission, the following further statements relating to the second Annuity under the Experts' Plan:

(註) 西暦  
Schedule I.—showing a further revised distribution of the second Annuity,

Schedule II.—showing the additional amounts available to the Powers on account of the further revision of the distribution of the second Annuity.

一 ドーズ案ニ基ツク年次支払問題 一一

一〇

公第八三六号

大正十五年十二月八日

在仏

臨時代理大使 松島 肇 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

第二年度「ドーズ」年金分配訂正表送付ノ件

賠償委員会ハ支払管理人ノ提出セル「ドーズ」年金第二年度分配訂正表ヲ了承セリ右ニ依レハ右期間ノ本邦受領権利額ハ六、三七八、四七〇金麻九四トナル  
関係書類左記送付ス

*Revised distribution of the second Annuity :*

1°) Decision 3402—498th Meeting, 4th December 1926  
2°) Annex 3030 A. B

(別添一)

十一月十七日賠償支払管理人發賠償委員会事務総長宛  
ドーズ年金第二年度分配訂正表提出ノ件

Annex 3030 A.

THE AGENT GENERAL  
FOR REPARATION PAYMENTS.

It is not yet possible to submit a final distribution of the second Annuity because of retroactive modifications which I understand are to be made in the allowances for the current expenses of the Armies of Occupation, but for which information is not yet available. Further adjustments may also have to be made in respect of savings by the Inter-Allied Commissions out of the sums drawn by them to cover their expenses for the second Annuity year. The present revised distribution includes all adjustments that can be brought in at this date, and the following modifications have been made as compared with the previous revised distribution of the second Annuity transmitted with my letter of August 11, 1926 (Annex 2957—Decision 3329):

(1) There is made available to the Powers:  
a. an amount of G.M. 1,554,455.30 in respect of the transport tax, representing the difference between the actual August receipts of

一一

November 17, 1926.  
Provisional

Annex 3030 A.  
Schedule I.

OFFICE OF THE AGENT GENERAL  
Accounting  
REVISED DISTRIBUTION OF

Powers	Arrears on	Current expenses	Belgian
	account of	of Armies of	Debt
	Army Costs (1)	Occupation	
	G.M.	G.M.	G.M.
1) United States	(2 1/4 % of 870,038,661.90 G.M. available for Reparations)		
2) British Empire	8,017,847.38	25,000,000.—	18,237,028.48
3) France	10,628,309.31	110,000,000.—	21,237,736.30
4) Italy	—	—	—
5) Belgium	—	25,000,000.—	6,803,887.45
6) Japan	—	—	—
7) Serbia	—	—	—
8) Portugal	—	—	—
9) Rumania	—	—	—
10) Greece	—	—	—
11) Poland	—	—	—
	18,646,156.69	160,000,000.—	46,278,652.23
Interest earned and gain in exchange included in the above distribution			

FOR REPARATION PAYMENTS  
Service.  
THE SECOND ANNUITY

Restitutions	Spa percentage	Reparations	Total Shares.
G.M.		G.M.	G.M.
		19,575,869.89	19,575,869.89
128,006.75	22	187,101,814.24	238,484,696.85
5,676,817.15	52	442,240,651.85) Dr. 6,000,000.—)	(2) 583,783,514.61
109,680.41	10	85,046,279.20	85,155,959.61
2,838,454.85	8	68,037,023.36) Cr. 6,000,000.—)	(2) 108,679,365.66
—	0.75	6,378,470.94	6,378,470.94
91,354.06	5	42,523,139.60	42,614,493.66
—	0.75	6,378,470.94	6,378,470.94
246,850.33	1.10	9,355,090.71	9,601,941.04
—	0.40	3,401,851.17	3,401,851.17
164,566.89		—	164,566.89
		850,462,792.01	
9,255,730.44		870,038,661.90	1,104,219,201.26
.....			3,157,404.45
.....			1,101,061,796.81
Cost of Inter-Allied Commissions .....			19,293,692.32
Service of German External Loan .....			92,234,103.89
Discount on Railway Interest .....			7,410,406.98
Total Annuity .....			1,220,000,000.—

(1) The allowances in respect of arrears on account of Army Costs have been reduced by G.M. 582,152.62 for the British Empire and G.M. 771,690.69 for France; these amounts having been paid by the Reparation Commission to the respective Governments out of receipts arising outside of the Annuity.

(2) By agreement between the Belgian and French Governments a portion of the total share accruing to the latter and amounting to 6,000,000 Gold Marks has been made available to the former, and is taken into account in the above distribution.

G.M. 26,554,455.30 and the estimated August receipts—G.M. 25,000,000.—

b. an amount of G.M. 1,038,154.91, being interest earned and exchange difference brought to account in the month of August 1926.

(2) The allowances for arrears on account of Army costs have been further reduced, for France by G.M. 319,315.16, and for the British Empire by G.M. 240,886.87, these amounts having been paid by the Reparation Commission to the respective Governments out of receipts arising outside of the Annuity, and notified by Reparation Commission letter dated September 3, 1926.

(3) The assignment from France to Belgium of the sum of G.M. 6,000,000—in accordance with Reparation Commission Decision No. 377 is brought into the statement of distribution.

(4) The discount paid in respect of railway inter-

一九二六年十二月一九二七年一月及二月「ア

一ズ」年金分配ニ関スル件

賠償委員会ハ本件ニ関スル支払管理人提案ヲ了承セリ

右ニ依レハ本邦割当額ハ

一九二六年十二月 四九三、〇〇〇金麻

一九二七年一月 四九四、三〇〇 "

一九二七年二月 四九五、六〇〇 "

ナリ尚第三年度割当総額ハ、〇三九、三四四金麻ナリ

関係書類左記ノ通送付ス

est received in advance and the amount of interest earned and exchange differences are also brought into the statement of distribution.

The supplementary amounts available to the Powers on account of the further revised distribution of the second Annuity, as shown in the last column of Schedule II, are available for immediate expenditure.

Respectfully,

(Signed) S. PARKER GILBERT

Agent General for Reparation Payments.

一一 十二月八日

在仏國松島臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛

一ズ年金ノ第三年度本邦受領額ニ関スル件

公第八三七号

大正十五年十二月八日

在仏國

臨時代理大使 松島 肇(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

*Revised provisional distribution of the third Annuity,*

*Programmes for the months of December 1926, Jan-*

*uary and February 1927 :—*

1) Decision 3403—498th Meeting, 4th December 1926.

2) Annex 3029 A, B, C.

編註 関係書類省略